

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-010257

(43)Date of publication of application : 14.01.1997

(51)Int.Cl.

A61F 13/15

(21)Application number : 07-165669 (71)Applicant : UNI CHARM CORP

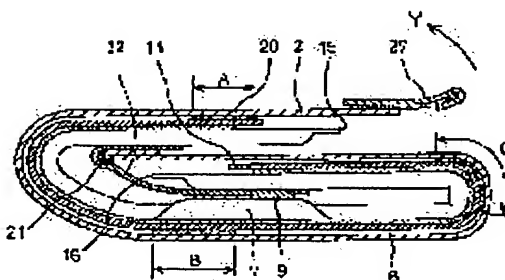
(22)Date of filing : 30.06.1995 (72)Inventor : MIZUTANI SATOSHI

(54) SANITARY NAPKIN PACKAGE

(57)Abstract:

PURPOSE: To smoothly peel off a peel-off sheet for protecting the adhesive area of a wing part along with the peel-off sheet for protecting the adhesive area of a napkin main body at the time of taking out a napkin from a sanitary napkin package.

CONSTITUTION: In this sanitary napkin package, the outer surface of first peel-off paper 11 for covering the adhesive area of the napkin main body is unpeelably joined to the inner surface of a sheet 2 for packaging and second peel-off paper 12 for protecting the adhesive area of the wing part is unpeelably joined to the sheet 2 for packaging at a part where the sheet 2 is extended from one end edge 16 of the napkin main body. The napkin main body is folded in three so as to put a surface sheet inward, put the end edge 16 downward and put the other end edge 15 on top of it.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 16.02.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3163233

[Date of registration] 23.02.2001

[Number of appeal against examiner's

decision of rejection]

[Date of requesting appeal against
examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-10257

(43) 公開日 平成9年(1997)1月14日

(51) Int. Cl. ⁶
A61F 13/15

識別記号

F I
A61F 13/18

370

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全5頁)

(21) 出願番号 特願平7-165669

(22) 出願日 平成7年(1995)6月30日

(71) 出願人 000115108

ユニ・チャーム株式会社
愛媛県川之江市金生町下分182番地

(72) 発明者 水谷 聡

愛媛県川之江市上分町547-3

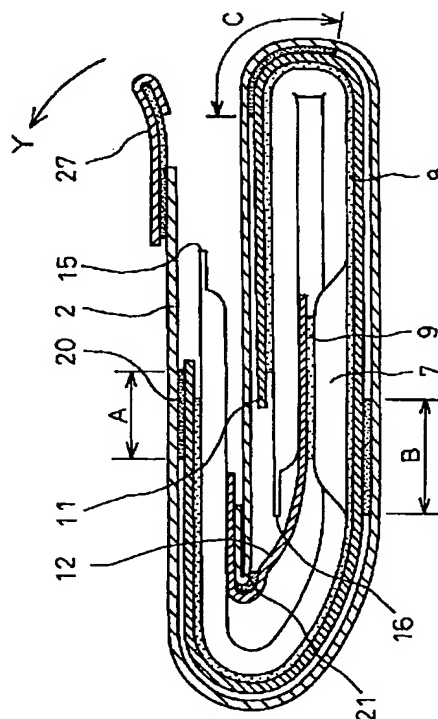
(74) 代理人 弁理士 白浜 吉治

(54) 【発明の名称】 生理用ナプキン包装体

(57) 【要約】

【目的】 生理用ナプキン包装体からナプキンを取り出すときに、ウイング部の粘着域を保護する剥離シートをナプキン本体の粘着域を保護する剥離シートとともにスムーズに剥離する。

【構成】 生理用ナプキン包装体において、ナプキン本体の粘着域を被覆する第1剥離紙11の外面が包装用シート2の内面に剥離不能に接合し、ウイング部の粘着域を保護する第2剥離紙12が包装用シート2に、該シート2がナプキン本体の一端縁16から延出する部分において剥離不能に接合している。かかるナプキン本体は表面シート3を内側にして、端縁16が下となり、もう一方の端縁15がその上となるように三つ折りに重ねられている。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】透液性表面シートと不透液性裏面シートとの間に吸液性コアが介在するナプキン本体の左右両側縁からウイング部が延出し、前記本体とウイング部の着用ショーツ当接面に剥離紙で被覆保護した粘着域を有する生理用ナプキンを包装用シートで被覆した生理用ナプキン包装体であって、
前記本体は、その粘着域を第 1 剥離紙で被覆するとともに、該第 1 剥離紙外面に前記包装用シートの内面を所要部位において剥離不能に接合し、かつ、該本体の両端縁と両側縁とから前記包装用シートを延出させ、
前記両ウイング部は、前記本体側縁に沿って表面シート上面に折り返してそれらウイング部の粘着域を第 2 剥離紙で被覆し、
前記包装用シートを接合した本体を前記表面シートを内側にして一方の端縁が下となり、もう一方の端縁が上となるように三つ折りに重ね合わせ、その重ね合わせた状態で該一方の端縁から延出する部位の前記包装用シートが前記第 2 剥離紙に剥離不能に接合してあることを特徴とする前記包装体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、生理用ナプキンを個別包装した生理用ナプキン包装体に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、ナプキン本体と、その左右両側縁部から延出するウイング部とからなる生理用ナプキンは周知である。それら本体とウイング部の着用ショーツ当接面には粘着剤を塗布し、それを剥離紙で被覆して塵埃による汚れを防止する。例えば、実開平 6 - 2 6 8 3 3 号公報には、本体の粘着剤を第 1 剥離紙によって、ウイング部の粘着剤を第 2 剥離紙によって被覆保護し、第 1 剥離紙の一端部をナプキンの個袋内面に接合する技術が開示されている。また、実開平 5 - 9 5 2 9 号公報には、本体とウイング部の粘着剤を 1 枚の剥離紙で同時に被覆保護することを可能にするほぼ十字型の剥離紙が開示されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】前記実開平 6 - 2 6 8 3 3 号公報の技術では、ナプキンを使用するとき第 1 剥離紙と第 2 剥離紙とを別々に剥がさねばならないから、一回の動作で両剥離紙を剥がすことができる場合に比べて手間がかかるという問題がある。実開平 5 - 9 5 2 9 号公報の技術によれば、剥離紙が 1 枚であるからそのような手間はかからないものの、剥離紙は十字型に広がった部位で剥離力が分散し、その部位では剥離がスムーズに進まない。したがって、この剥離紙にはそのすべてを一気に剥がすことが難しいという問題がある。

【0004】そこでこの発明は、包装用シートとウイング部を被覆する剥離紙とを本体長手方向において剥離不

能に接合することにより、前記従来技術の問題を解決することを課題にしている。

【0005】

【課題を解決するための手段】この発明が前記課題を解決するために手段とするところは、以下のとおりである。

【0006】この発明が前提とするのは、透液性表面シートと不透液性裏面シートとの間に吸液性コアが介在するナプキン本体の左右両側縁からウイング部が延出し、前記本体とウイング部の着用ショーツ当接面に剥離紙で被覆保護した粘着域を有する生理用ナプキンを包装用シートで被覆した生理用ナプキン包装体である。

【0007】かかる前提において、前記本体は、その粘着域を第 1 剥離紙で被覆するとともに、該第 1 剥離紙外面に前記包装用シートの内面を所要部位において剥離不能に接合し、かつ、該本体の両端縁と両側縁とから前記包装用シートを延出させ、前記両ウイング部は、前記本体側縁に沿って表面シート上面に折り返してそれらウイング部の粘着域を第 2 剥離紙で被覆し、前記包装用シートを接合した本体を、前記表面シートを内側にして前記一方の端縁が下となり、もう一方の端縁が上となるように三つ折りに重ね合わせ、その重ね合わせた状態で該一方の端縁から延出する部位の前記包装用シートが前記第 2 剥離紙に剥離不能に接合してあることがこの発明の特徴である。

【0008】

【作用】このように構成した生理用ナプキン包装体では、三つ折りにしたナプキンの外側に位置する包装用シートの端部を持って、該シートをナプキン本体の長手方向に引っ張ると、それに接合する第 1 剥離紙が本体から剥がれるのに続いて、同じく包装用シートに接合する第 2 剥離紙がウイング部から剥がれる。

【0009】

【実施例】この発明に係る生理用ナプキン包装体の詳細を添付の図面を参照して説明すると、以下のとおりである。

【0010】図 1、2 は、生理用ナプキン包装体の部分破断斜視図とその I I - I I 線端面図であるが、図 2 では、生理用ナプキン 1 が側面図で示してある。

【0011】図 3 は、前後に伸展した生理用ナプキン包装体の部分破断斜視図である。

【0012】図 1、2 において、生理用ナプキン包装体は、生理用ナプキン 1 と、包装用シート 2 とからなる。ナプキン 1 は、透液性表面シート 3 と不透液性裏面シート 4 との間に吸液性コア 5 が介在したナプキン本体 6 と、本体 6 の左右各側縁から延出する表裏面シート 3、4 が接合することにより形成されたウイング部 7 とで構成されている。本体 6 とウイング部 7 の着用ショーツに対する当接面には第 1 粘着域 8 と第 2 粘着域 9 とがある。第 1 粘着域 8 は、第 1 剥離紙 11 で剥離可能に被覆

保護され、左右のウイング部 7 の第 2 粘着域 9 は、ウイング部 7 をナプキン本体 6 の側縁 1 7、1 8 に沿って表面シート 3 の上面へ折り重ねた状態で第 2 剥離紙 1 2 により剥離可能に被覆保護されている。包装用シート 2 は、ナプキン本体 6 の前後端縁 1 5、1 6 と左右側縁 1 7、1 8 とから延出する大きさを有し（図 3 参照）、内面の所要部位、例えば図 2 における部位 A、B、C が第 1 剥離紙の外面にホットメルト接着剤 2 0 で剥離不能に接合している。生理用ナプキン 1 と包装用シート 2 とは、表面シート 3 を内側にして三つ折りにしてあり、ナプキン本体 6 の後端縁 1 6 が下になり、前端縁 1 5 がその上になっている。シート 2 は、ナプキン本体 6 の側縁 1 7、1 8 から延出する部分で互いに重なり合い、シールライン 2 5 により一体化されている。シート 2 が本体前端縁 1 5 から延出する部分は生理用ナプキン包装体の開口部を形成しており、該部分から延びる摘持用タブ 2 7 がその内面に塗布した粘着剤 2 7 A によりシート 2 の外面に剥離可能に止着している。図 2 に示すように、シート 2 が本体後端部 1 6 から延出する部分に第 2 剥離紙 1 2 の一端部がホットメルト接着剤 2 1 により剥離不能に接合し、その第 2 剥離紙は前記一端部に対向する端部で第 2 粘着域 9 を被覆している。

【0013】図 3 において伸展状態にある生理用ナプキン 1 と包装用シート 2 とは、後端縁 1 6 が下となり、前端縁 1 5 がその上となるように折曲線 A と B とにおいて矢印 P、Q に従って三つ折りにして重ねると図 1、2 の状態となる。重ねるときには、シート 2 に接合している第 2 剥離紙 1 2 の図における上面 1 2 A を第 2 粘着域 9 に当接し、摘持用タブ 2 7 をシート 2 に止着し、さらにシールライン 2 5 を施す。

【0014】図 4 は、生理用ナプキン 1 から第 1、2 剥離紙 1 1、1 2 を剥がすときの模式図である。図 2 において、タブ 2 7 を摘み矢印 Y 方向に引っ張るようにすると、包装用シート 2 がシールライン 2 5 に沿って破れるか、または剥離し、そのシート 2 と共に第 1 剥離紙 1 1 が剥がれ始め、さらに引っ張ると、力が第 2 剥離紙 1 2 にも及び、その第 2 剥離紙が図示のように X 方向へ反り返って第 2 粘着域 9 から剥がれる。この生理用ナプキン

包装体では、包装用シート 2 と第 1、2 剥離紙 1 1、1 2 とが一体の細長い带状シートとなり一回の剥離操作で生理用ナプキン 1 からスムーズに剥がれ、剥がれた後にはそれらをひとまとめにして簡単に廃棄することができる。

【0015】かかる生理用ナプキン包装体において、包装用シート 2 や第 1、2 剥離紙 1 1、1 2 にはプラスチックフィルムその他の当該技術分野における慣用素材を使用することができる。各部材を接合するには粘着剤やホットメルト接着剤等の接着剤の他に、熱溶融性素材に対する熱溶着の技術を利用することができる。

【0016】

【発明の効果】この発明においては、ナプキン本体の粘着域を保護する第 1 剥離紙と包装用シートとを剥離不能に接合する他に、該シートとウイング部の粘着域を保護する第 2 剥離紙とをナプキン本体の長手方向において剥離不能に接合したから、包装用シートを破いてナプキンを取り出すという操作だけで第 1、2 剥離紙をスムーズに剥がすことができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】生理用ナプキン包装体の部分破断斜視図。

【図 2】図 1 の I I - I I 線端面図。

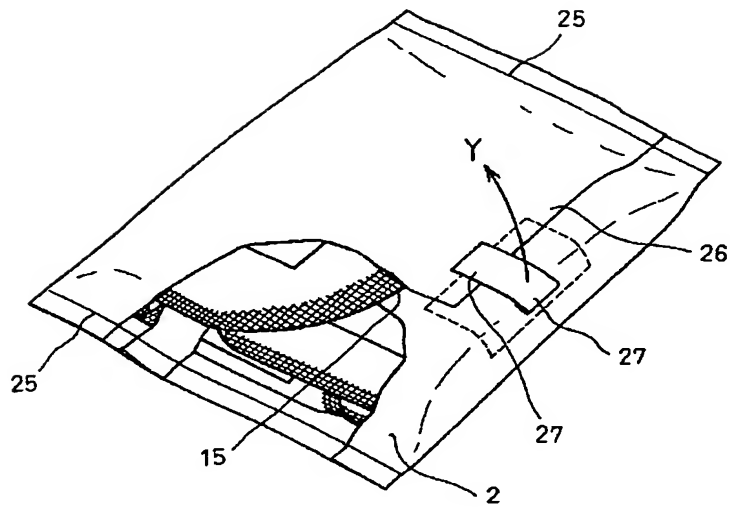
【図 3】生理用ナプキン包装体を前後に伸展した状態の部分破断斜視図。

【図 4】生理用ナプキン包装体から生理用ナプキンを取り出すときの模式図。

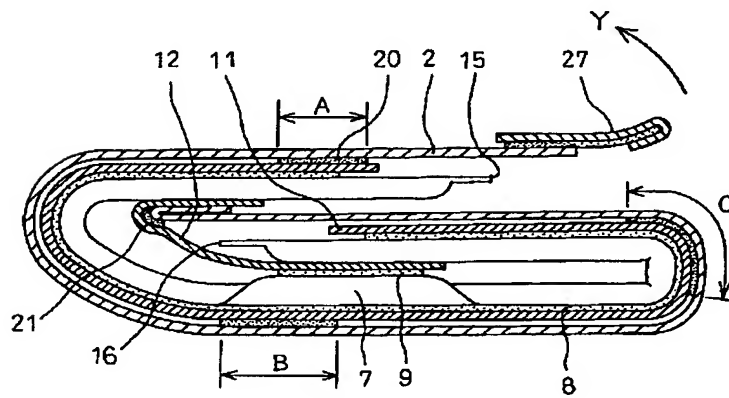
【符号の説明】

- | | |
|-----|------------|
| 1 | 生理用ナプキン |
| 2 | 包装用シート |
| 3 | 表面シート |
| 4 | 裏面シート |
| 5 | 吸液性コア |
| 7 | ウイング部 |
| 8 | 第 1 粘着域 |
| 9 | 第 2 粘着域 |
| 1 1 | 第 1 剥離紙 |
| 1 2 | 第 2 剥離紙 |
| 1 6 | 後端縁（一方の端縁） |

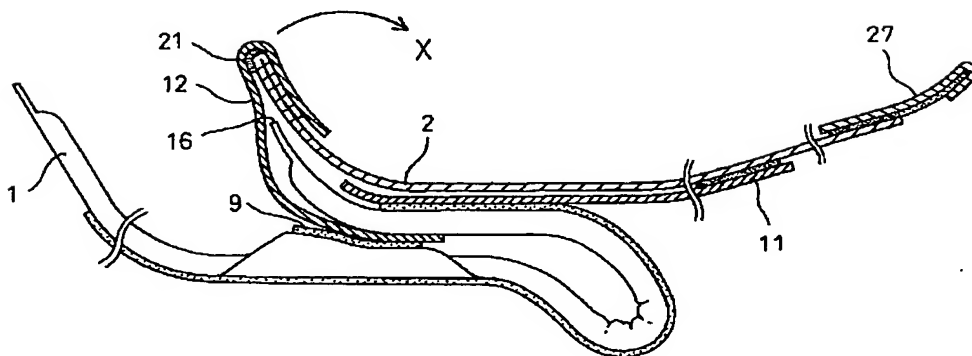
【図 1】



【図 2】



【図 4】



【図 3】

